



1 カタクリ広場

旭川刑務所裏手に、突哨山遊歩道カタクリルートの入口があります。ゴルフ場計画から山を守った「突哨山と身近な自然を考える会」が、募金を集め買い取った広場。市民の手で駐車場・トイレ・あずまやが整備され、イベントも開かれています。



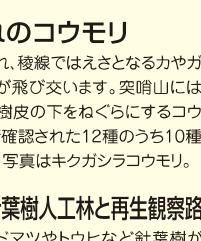
3 沢に咲く花

くぼ地や沢にはオオバナノエンレイソウやニリンソウなどの温め氣を好む植物が育ちます。春も最後まで雪が残るので、カタクリなどが意外に遅くまで咲いています。



4 扇の沢分岐

カタクリルートと扇の沢ルートの分かれ道。日当たりのいい稜線にあり、春はカタクリ群落が広がります。分岐から北に進むと尾根を歩いてから折り返して扇の沢口へと下ります。ヒメギフチョウに会えるかもしれません。



5 夕暮れのコウモリ

夏の夕暮れ、稜線ではえさとなる力や力を求めてコウモリが飛び交います。突哨山には鍾乳洞や木の穴、樹皮の下をねぐらにするコウモリがいて、旭川で確認された12種のうち10種が生息しています。写真はキクガシラコウモリ。



6 D 針葉樹人工林と再生観察路

トドマツやトウヒなど針葉樹が整然と並ぶのは人工林です。手入れが遅れ、混み合って下草も少ない単調な環境ですが、間伐によって林内を明るくし、時間をかけて本来の広葉樹林に戻る手助けをしています。「6」の天然林再生観察路では多種多様な広葉樹の若木が自生始めています。

7 突哨山頂上

突哨山の頂上は長らく232mでしたが、北北西に560m離れたピークの方が高い、という声がありました。地元測量会社がボランティアで実測した結果、こちらが239mで確かに高いことが判明。2017年、国土地理院が地図を修正し、突哨山の頂上地点と標高が正式に変わりました。



8 B 広葉樹林

同じ広葉樹林でも、場所によって木の太さや高さが微妙に違っています。カタクリルート沿いの林は比較的新しく、農地にしたり、木材をとるために切られた後の回復途中の姿です。比布側の東斜面は傾斜が急だったので、100年前後の大木も残っています。



A 扇の沢

昔の林道を市民有志が整備して復活しました。小さな流れのほとりにヤチダモやハルニレの大木が育ち、春はミズバショウやザゼンソウが咲く、気持ちのいい水辺の遊歩道です。



E 村上山公園

展望台、駐車場、トイレ、水飲み場などが整備され、春の桜も見ものです。「ぴびの路」へはここの駐車場をお使いください。



10 木もれび分岐付近

突哨山でもカタクリの群落が特にみごとです。広葉樹の木立の下、遊歩道の両側に春の花が咲き乱れ、ゴールデンウィークには花案内人が常駐します。夏は木もれ日が気持ちよく、秋にはたくさんのドングリが落ちています。



F 大雪山遠望

村上山公園からは中央高地の山々が一望できます。左から大雪、大雪山、十勝連峰。

突哨山花ごよみ



4月



4・5月



4・5月



4・5月



5月



5月



7月



8月



8・9月